



EISUGAKKAN



2015年1月22日 英数学館中・高等学校は ユネスコ スクール加盟校

Member of the worldwide network of UNESCO Associated Schools

に認定されました！

中高一貫校での登録は
広島県私学で初！

1. ユネスコスクールとは

ユネスコ(国際連合教育科学文化機関、United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization UNESCO)は、諸国民の教育、科学、文化の協力と交流を通じて、国際平和と人類の福祉の促進を目的とした国際連合の専門機関です。1945年11月16日に採択されたユネスコ憲章に基づいて、1946年11月4日に創設されました。本部はフランス共和国・パリ市にあり、世界52ヶ所に地域事務所があります。

1953年、ASPnet(Associated Schools Project Network)として、ユネスコ憲章に示された理念を学校現場で実践するため、国際理解教育の実験的な試みを比較研究し、その調整をはかる共同体として発足しました。このASPnetへの加盟が承認された学校を、ユネスコスクールと呼んでいます。

文部科学省及び日本ユネスコ国内委員会では、ユネスコスクールを持続可能な開発のための教育(ESD: Education for Sustainable Development)の推進拠点と位置づけ、加盟校増加に取り組んでいます。2015年1月現在、世界181か国約10,000校、日本国内では、895校の幼稚園、小学校・中学校・高等学校及び教員養成系大学がこのネットワークに参加しており、ユネスコスクールは、そのグローバルなネットワークを活用し、世界中の学校と交流し、生徒間・教師間で情報や体験を分かち合い、地球規模の諸問題に若者が対処できるような新しい教育内容や手法の開発、発展を目指しています。

2. ユネスコスクールとしての本校の活動

英語をツールとして操り、日本人としてのアイデンティティを大切にするー 本校ではグローバル教育への挑戦を掲げ、様々な取り組みを行っております。その一つとしてオリジナル授業「中学校GSP(Global Studies Program)」「高校GLP(Global Leaders' Program)」を行っておりますが、主にこの授業においてユネスコスクールとしてESDを実践していきます。

3. ESDのテーマ ー食でつなげる福山と世界ー

「食」をテーマに一貫した学習を進めていきます。食は生活の土台であり、食を学び考えることは、健全で健康な身体を培うことにつながります。また、食は自然の気候風土や社会環境によって形成されるため、食文化を学ぶ考えることは、地域的・民族的な特徴を知る上でとても重要になります。さらに、食の安全や安定供給の問題、環境問題など、私たちが抱える「食」に関する諸問題を、国内外の様々な人たちと意見交換していくことで、生徒たちは地球市民の一人として自分に何ができるかを考え、行動できる人間へ

- 中学1年生 食を通して、福山の文化と伝統を学ぶ
- 中学2年生 食を通して、現代社会に目を向ける
- 中学3年生 食を通して、環境を考える
- 高校1年生 日本と世界の食文化を比較する
- 高校2・3年生 食から地球の未来を考える

